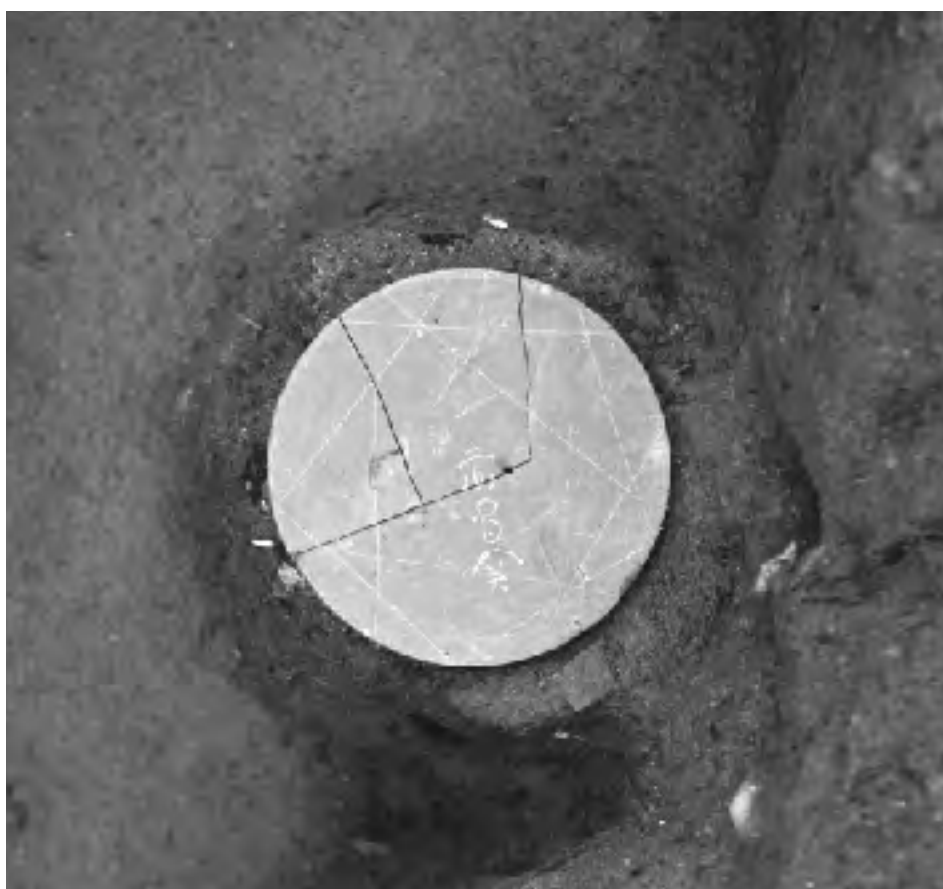


平成15年度(2003年度)

日田市埋蔵文化財年報



発刊にあたって

平成15年度も昨年に引き続き市内各所において、発掘調査が行われました。発掘調査件数は一時期に比べれば減少しているものの、大規模な農業基盤整備を中心とした発掘調査は今後数年間継続することになっており、いましばらくは現在の事業量が続くと考えられます。さらに来年度は市町村合併により、日田市の埋蔵文化財行政も大きく変貌していくことが予想されます。

また、埋蔵文化財センターは開所2年目を迎え、市民への普及・啓発に主眼をおいた運営事業がスタートいたしました。速報展・企画展の開催、市民向け考古学講座の開講、体験発掘や火おこし体験などのメニューを取り揃え、本センターは普及・啓発活動の拠点となりつつあります。

今後も埋蔵文化財の発掘調査事業を進めるとともに、これと一体化した普及・啓発活動の一層の充実を図っていき、事業者の方々に対して埋蔵文化財への理解を一層深めていただくよう努力していきたいと考えております。

最後になりましたが、この1年間日田市の埋蔵文化財調査および普及・啓発に多大なるご指導・ご協力を賜りました関係者の皆様方に、心よりお礼を申し上げます。

平成16年6月

日田市教育委員会教育長 諫 山 康 雄

例 言

1. 本書は、平成15年度に日田市教育委員会が行った埋蔵文化財保護事業の概要をまとめたものである。
2. 本書には、大分県教育委員会が日田市内で行った埋蔵文化財保護事業の一部も併せて掲載している。掲載にあたっては甲斐寿義氏・松本康弘氏（県文化課）の協力を得た。
3. 発掘調査における遺物・図面・写真類等の資料については、日田市埋蔵文化財センターにて保管・展示している。
4. 表3・4における「詳細地図番号」は日田市作成「1/2,500都市計画基本図」および大分県作成「1/5,000大分県森林基本図」、「住宅地図」をもとに作成し、センターにて保管している。
5. 受領図書は平成15年4月1日～平成16年3月31日の間に日田市教育委員会に寄贈された書物を掲載し、併せて日田市立博物館あての書物も掲載した。
6. 受領図書一覧表の作成では、伊藤一美氏の協力を得た。
7. 表紙写真は、史跡咸宜園跡の赤間硯の出土状況である。（本文P4参照）。
8. 平成15年度の埋蔵文化財調査担当は、土居和幸・行時桂子・若杉竜太・渡邊隆行、普及啓発事業担当は、園田恭一郎・酒井恵である。
9. 本書の執筆はⅠ-2）を各担当者が行ったほかは、若杉が行った。文責を末尾に記している。
10. 編集は各担当者間で協議し、若杉が行った。

目 次

発刊にあたって	
Ⅰ 平成15年度の埋蔵文化財調査事業	1
1) 平成15年度埋蔵文化財調査の概要	1
2) 発掘調査・確認調査の概要	4
3) 試掘調査・立会調査・照会の概要	2
Ⅱ 埋蔵文化財普及・啓発事業	31
1) 埋蔵文化財センター運営事業	3
2) 埋蔵文化財の普及・啓発活動	4
3) 指定文化財	5
4) その他	51
Ⅲ 埋蔵文化財センターおよび 日田市立博物館受領図書一覧	16

I 平成15年度の埋蔵文化財調査事業

1) 平成15年度埋蔵文化財調査の概要

平成15年度の発掘調査等の動向（表1）

平成15年度は公共事業・民間開発に伴う埋蔵文化財包蔵地の事前照会件数は43件、このうち試掘・立会調査を行ったものは21件、発掘調査を行ったものは10件であった。

発掘調査は民間開発に伴うものが2件で、その原因は宅地造成、畑地造成に伴うものが各1件であった。公共事業に伴う発掘調査は農業基盤整備事業に伴う高野遺跡・祝原遺跡・古屋敷遺跡・町ノ坪遺跡、市道建設に伴う求来里平島遺跡の5件である。そのほか、史跡整備に伴う事前確認を目的とした史跡咸宜園跡、範囲内容確認を目的とした永山布政所跡、史跡地追加指定に伴う範囲内容確認を目的とした穴観音古墳の3件の確認調査を実施した。また、大分県教育委員会が市内で2件の発掘調査を行っている。

全体的な傾向としては、発掘調査、試掘・立会調査、書類審査ともに前年より微増している。試掘・立会調査、書類審査件数をみると前年より若干増加しているが、平成11年度前後をピークとした時期には遠く及ばず、今後も現在の水準で推移していくと考えられる。発掘調査件数に関しては去年とほぼ同じ10件であった。

平成15年度の発掘調査の内容（表2）

本年度は旧石器時代の調査例はなく、縄文時代から近世にいたる遺跡の調査を行っている。

縄文時代の調査としては古屋敷遺跡で前期の包含層が確認されている。

弥生時代の調査では高野遺跡で中期後半～後期前半にかけての集落が確認されている。内容としては竪穴住居跡を中心に掘立柱建物や小児用甕棺墓が検出された。特に竪穴住居跡は円形住居から方形住居へと変遷していく過程が認められ、注目される。上野第2遺跡では中期初頭の甕棺墓を中心として、石蓋木棺墓や石棺墓、方形周溝墓が確認された。また、町ノ坪遺跡では竪穴住居跡や土坑が確認されている。

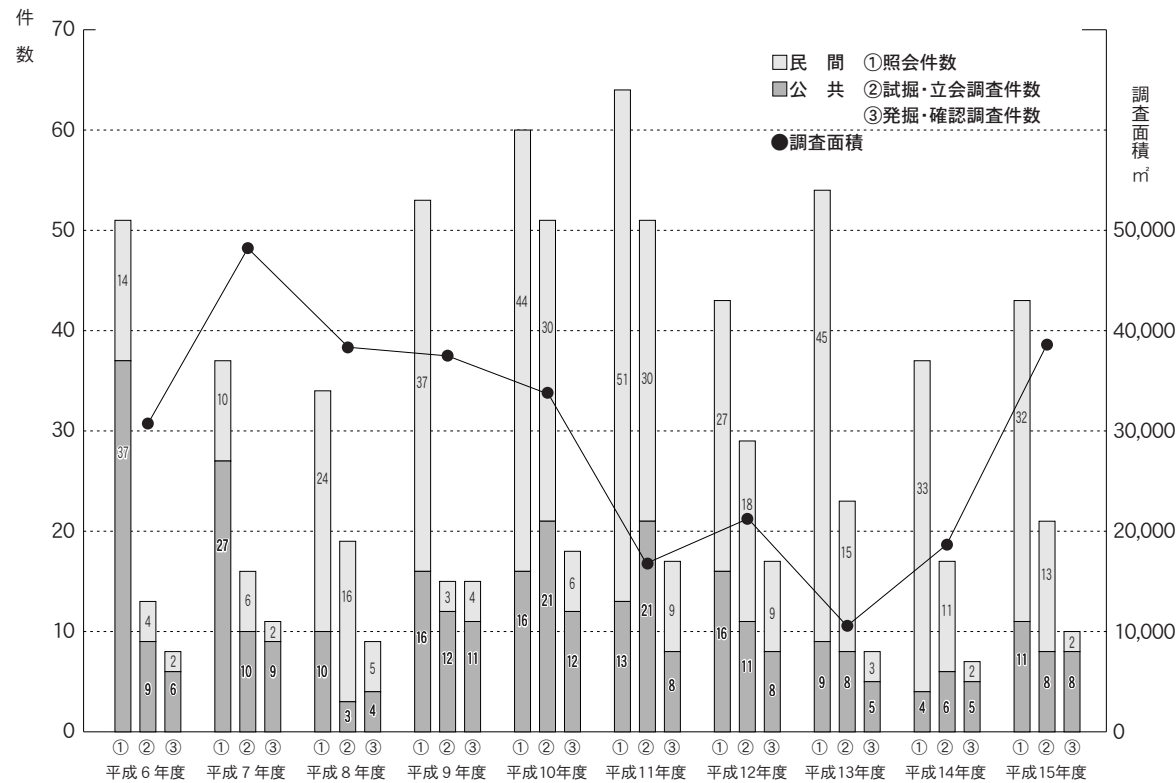
古墳時代の調査としては、穴観音古墳で周溝確認の調査が行われ、1次調査で不明であった石室入り口部分の周溝形態が明らかになり、追葬や追葬供養に使用されたとみられる土器類も確認されている。また、町ノ坪遺跡では竪穴住居跡・土坑が確認されている。特に中期の土坑からは市内でも数少ない須恵器無蓋高坏と底部穿孔をもつ甗や後期の住居からは祭祀に使用したと見られる甕の完形品や石製勾玉が出土したことが特筆される。さらに求来里平島遺跡D区では6世紀後半頃の集落が確認されている。この他、永山布政所跡では近世の遺構群に切られた後期の溝が確認された。遺跡北側に位置する月隈横穴墓群との関係を含め、当該期の集落の存在を示す資料といえる。また日田条里四反畑地区では古墳時代から古代にかけての集落が確認されている。

古代の調査では町ノ坪遺跡で竪穴住居跡や掘立柱建物が確認されている。また求来里平島遺跡D区では古代末から中世初頭とみられる口縁全周を打ち欠き、底部穿孔をした土師器小皿が出土している。

中世の調査では高野遺跡で10数棟の掘立柱建物や土坑、溝が確認されている。掘立柱建物は庇をもつものが数棟あり、中でも四面庇を持つ建物は当時の有力層の存在を示すものと考えられる。また、古屋敷遺跡では掘立柱建物や溝が確認されている。このほか、求来里平島遺跡では、溝や掘立柱建物、水田層が確認されている。

近世の調査は史跡咸宜園跡、永山布政所跡、祝原遺跡で行われた。史跡咸宜園跡では江戸時代の整地層が確認された。この整地層中からは塾の門下生が使用したとみられる陶磁器類のほか、赤間硯が出土している。永山布政所跡では溝や廃棄土坑が確認され、埋土からは肥前系の椀や高取系の皿などが確認された。また、大量の木器も確認され、永山布政所に関連する施設の一部である可能性が高くなった。祝原遺跡の調査では2棟の掘立柱建物が確認されている。町ノ坪遺跡の調査では溝に大量廃棄された陶磁器類が出土している。

表 1 埋蔵文化財の調査件数および調査担当者の推移

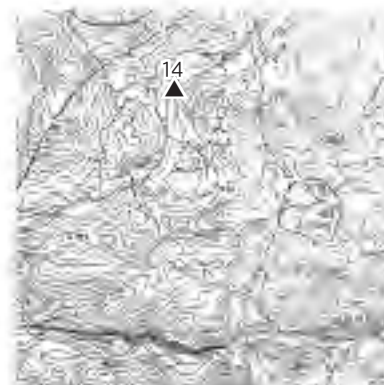
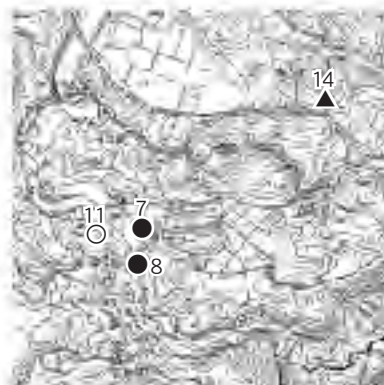
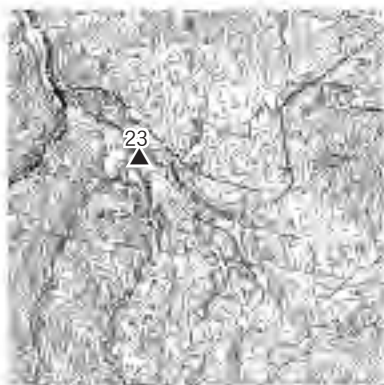
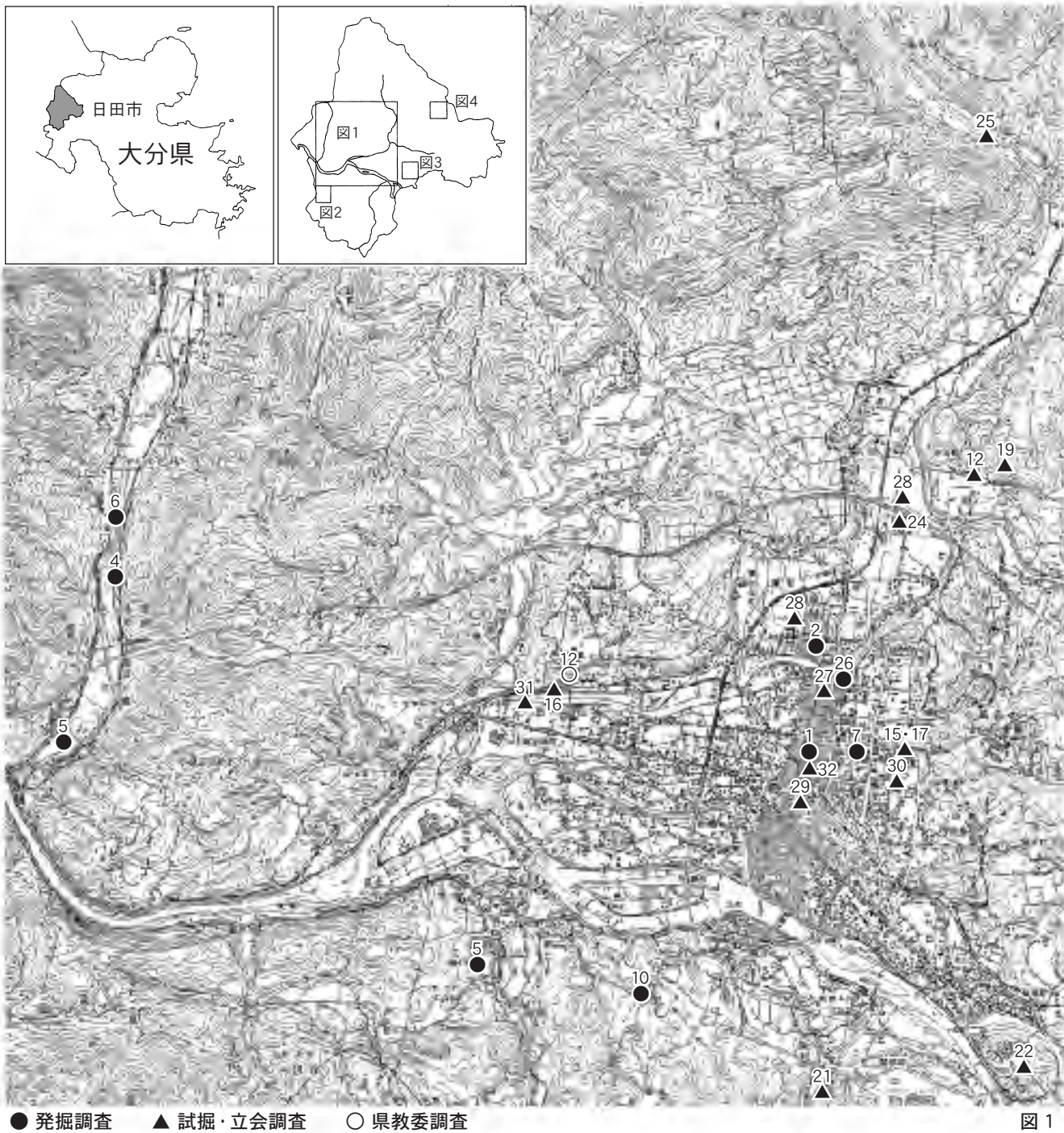


	平成6年度	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度
専門職員数	3	4	4	5	3 (4)	4	3 (4)	4	4	4
嘱託職員数	1	1	1	0	2	1	0	0	0	0
調査面積	30,723	48,230	38,343	37,510	33,846	16,794	21,254	10,552	18,663	38,827

表 2 平成15年度発掘・確認調査一覧表

日田市教育委員会										面積単位: ㎡
番号	遺 跡 名	所 在 地	事業主体	調査原因	開発面積	調査面積	調査年月日	費用負担	調査担当者	備 考
1	史跡咸宜園跡11次	南豆田字中城100-1	公共	確認調査	—	1,067	0702～1125	国庫補助	土居	
2	穴観音古墳2次	内河野字倉園5他	公共	確認調査	—	50	1105～1127	国庫補助	土居	
3	永山布政所跡2次	丸山1丁目9-1	公共	確認調査	—	200	1206～0329	国庫補助	渡邊	
4	高野遺跡	夜明字高野135-1他	公共	圃場整備	40,000	9,200	0428～1020	原因者	若杉	前年度継続
5	祝原遺跡	夜明字祝原エゴ1862-1他	公共	圃場整備	10,000	4,000	0509～0804	原因者	行時	
6	古屋敷遺跡	夜明字古屋敷1057-1他	公共	圃場整備	30,000	7,100	0519～1019	原因者	渡邊	
7	町ノ坪遺跡A～C区	求来里字町ノ坪1550他	公共	圃場整備	14,000	6,355	1110～0326	原因者	土居	次年度継続
8	求来里平島遺跡D区	求来里字平島1759-1他	公共	市道建設	1,300	1,100	0107～0331	原因者	行時	次年度継続
9	日田条里四反畑地区	田島字四反畑14-1他	民間	宅地造成	1,937	510	0612～0626	原因者	土居	
10	上野第2遺跡	上野字向尾888-1他	民間	畑地造成	4,000	1,500	0818～1017	国庫補助	行時	

大分県教育委員会								面積単位：㎡	
番号	遺 跡 名	所 在 地	調査原因	開発面積	調査面積	調査年月日	費用負担	備 考	
11	金田遺跡	求来里字金田1054他	河川改修	2,500	2,500	1110～0310	原因者	備 考	
12	北友田横穴溝群	友田字片山1728-2他	急傾斜地	200	200	1218～0220	原因者		



平成15年度発掘調査位置図 (1/50,000)

2) 発掘調査・確認調査の概要

1. 史跡咸宜園跡11次

— 史跡整備に伴う範囲内容確認調査 —

咸宜園は文化14年（1817）に広瀬淡窓が開いた私塾で、明治30年に塾が廃止となるまでに全国66ヶ国から約4,800人の門弟が学んでおり、昭和7年に国史跡の指定を受けている。

平成4年度からは史跡内に現存する秋風庵などの建造物の保存修復を継続して実施するとともに、史跡整備に伴う事前の遺構確認調査を行っている。11回目にあたる今回の調査は史跡内にトレンチ4ヶ所を設定し、当時の遺構の確認を行なった。

その結果、現存する秋風庵前に設定した2トレンチでは、設定場所が当時の塾の講堂あるいは塾舎（東塾）の建設位置と想定していたが、こうした遺構の検出までにはならず、江戸時代の整地面を確認したにとどまった。しかしながら、この整地層中からは咸宜園塾の門下生が使っていたと考えられる多くの陶磁器類のほかに硯などの遺物が出土した。

また、史跡北側の3トレンチでは明治前半頃と推定される畑の畝状遺構3列を検出した。この遺構は現存する史料から咸宜園の塾時代あるいはその後小作に土地を貸した際の畑の痕跡と考えられる。

このほか、1・4トレンチでも遺構の検出は出来ず、江戸時代の整地面の確認にとどまった。
(土居)



遺跡位置図 (1/5,000)



2 トレンチ全景 (北側上空から)

2. 穴観音古墳2次

— 範囲内容確認調査 —

穴観音古墳は日田盆地南の通称長者原台地上に位置し、古くから石室内の玄室と前室に同心円文や人物、船などの紋様が描かれた装飾古墳として知られ、昭和8年に国史跡の指定を受け、これまでに数回の調査が行なわれてきた。

今回の調査は、前回の史跡指定地拡大を目指した平成12年の1次調査の補足調査として、はっきりしなかった古墳入口部分における周溝の状況を確認する目的で実施した。

調査では1次調査の結果を踏まえて、1次調査1・8トレンチの間（9トレンチ）および7トレンチの南側（10トレンチ）にそれぞれ1本ずつのトレンチを設定して確認に努めた。

その結果、両トレンチにおいて周溝を検出することができ、特に10トレンチでは周溝の端部が確認された。このことにより、この古墳の周溝は石室南側に陸橋部を設けた径約25mの円形に巡っていることが明らかとなった。

また、今回の調査では周溝の全掘は避けたが、サブトレンチや周溝検出面からは多くの須恵器や土師器が出土し、なかでも9トレンチでは土師器の高坏、10トレンチでは須恵器の甕などが目立って発見された。これら遺物の詳細な時期については報告に譲るが、追葬や追善供養に使用されたものと考えられる時期の異なる土器が散見される。

(土居)



遺跡位置図 (1/5,000)



2 トレンチ周溝検出状況

3. 永山布政所跡 2 次

一 範囲内容確認調査

永山布政所は江戸幕府が寛永16年（1639年）に永山城（丸山城）の南側に設置した西国筋郡代で、その推定地は現在宅地化が進み、当時の状況は現存する文政4年（1821年）～天保6年（1835）年の陣屋見取り絵図によって偲ぶことが出来る。

今回の調査は昨年度調査のトレンチ周辺を広げ、昨年度の遺構の広がりや江戸期の遺構の確認を目的として行った。調査区内は明治以降、水田や学校用地として利用されたとの記録が残ることから、これらの整地面を確認しながら掘り下げを行ったところ、明治から大正期の建物や整地面や明治期？の水田面などを層位的に確認することが出来た。これら明治期以降の整地面を除去し、遺構の確認を行ったところ、多数の遺構の広がりが確認され、江戸時代と考えられる溝？4条、土坑6基以上が確認された。この内、溝跡は東西方向に構築されており、両側に3段以上の石積が行われている溝は底に鉄分の沈殿が見られることから、用水路としての利用が考えられた。また、1次調査にて確認されていた溝？は廃棄土坑であることが確認され、埋土からは土器や陶磁器、木器類の出土が見られた。土器には肥前系の碗や高取系の皿、関西系の灰落とし、木器類には杓子？、団扇？、ホゾ穴の空いた建築部材等がみられた。これらの大量の遺物の年代は18～19世紀に該当することから、永山布政所に関連する施設の一部の可能性が高いと考えられる。しかし、現存する絵図と今回確認された遺構の対応は確認することが出来ないことから、永山布政所に関連する施設の可能性は高いものの、遺構の性格を確定することは出来なかった。

また、近世の遺構群に切られて、古墳時代の溝跡も確認された。この溝跡から出土した甕や高杯の破片から、6世紀代に相当するものと考えられる。遺跡北側には横穴墓が多数所在する月隈横穴墓群があり、横穴墓の眼下に広がる沖積地に当該時期の集落が展開していた可能性を示す資料といえる。

今回の調査において確認された遺構が周辺部にどのように広がっているか、また永山布政所関連の施設の状況については今後の周辺調査にゆだねるところが大きいと言わざるを得ない。

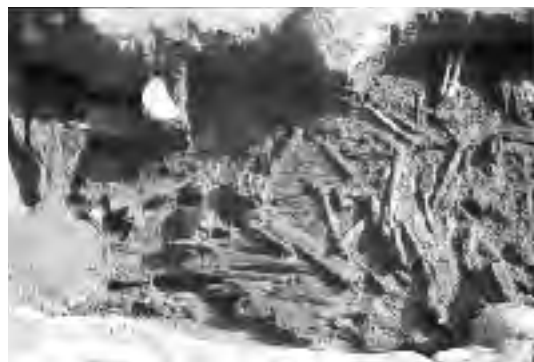
（渡邊）



遺跡位置図（1/5,000）



調査区全景



木器出土状況



古墳時代の溝

4. 高野遺跡

— 県営圃場整備事業大明地区に伴う発掘調査 —

遺跡は日田市西部の三隈川支流の大肥川沿いに開けた谷に位置する。遺跡付近ではこの大肥川の両岸から斜面が迫り、谷を南北に分断する地形を呈しており、遺跡は南側の谷の北端に位置する。

調査では弥生時代中期～後期の竪穴住居跡や掘立柱建物・小児用甕棺墓・土坑、中世の掘立柱建物・土坑・溝などが確認された。

弥生時代の竪穴住居跡は円形・方形ともに検出された。中期末から後期は住居形態が円形から方形へと変遷していく時期でもあり、今回の調査ではその変遷過程を追える貴重な資料を得たといえる。また、円形住居の配置されてる状況や倉庫と思われる建物の存在など集落内の建物配置を考える上でも注目できる。

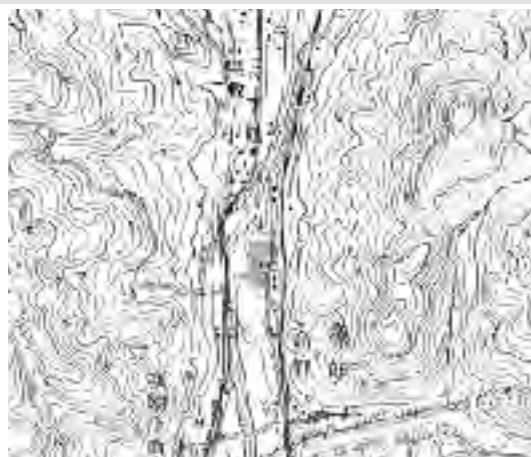
中世の遺構は掘立柱建物が15棟以上確認され、調査区の西側に集中して確認された。遺物は土師質土器や青磁碗・皿などが出土しており、12～13世紀のものと考えられる。これらの中で特に四面庇をもった建物が2棟確認されており、階層的にも支配層の建物が存在していた可能性が考えられる。

全体的な遺構の配置状況をみると、主要な遺構の多数は調査区の西側に集中して存在している。調査区の北東側では時山が山側へ向かって谷状に下がっており、中世以降の水田開発などによる削平があったものと思われる。

これまで、大明地区の谷の南側では数箇所の遺跡が調査されているものの、今回の調査のようにまとまった遺構は検出されなかった。遺跡の北側では弥生時代中期～後期の墓地群が発見された大肥中村遺跡やさらにその北側に位置する大肥遺跡では弥生時代前期末～後期にかけての集落や墓地、流路が多数確認されており、この地域での中心的な集落が存在していたと考えられる。この付近が北部九州から日田盆地への文化流入ルートの中継点としての役割を担っていた可能性が高い。大明地区から盆地への伝達ルートはいくつか考えられ、高野遺跡の南側にも日田盆地へ抜けるルートがあると考えられ、その拠点となった集落の1つと考えられる。

また、中世においても大肥中村遺跡では集落や鍛冶遺構が存在しており、今回の調査で確認された建物群はその広がりを考える上で重要な位置を占めていると考えられる。

これらの状況から高野遺跡は弥生時代・中世には大明地区の南側の谷の中心的な集落であった可能性が指摘できる。 (若杉)



遺跡位置図 (1/25,000)



遺跡全景 (北から)



竪穴住居



掘立柱建物

5. 祝原遺跡

— 県営圃場整備事業大明地区に伴う発掘調査 —

遺跡は日田市西部、東西を300m級の山に挟まれた幅の狭い谷を南流する大肥川と、日田盆地の中央を西流する三隈川（筑後川）の合流点に程近い河岸段丘上に位置する。遺跡のある谷は山や丘陵により日田盆地とは隔絶され、この谷だけで一つのまとまりをもった景観を呈している。

m調査は圃場整備工事により掘削を受ける約4,500mについて、重機により表土を除去し、遺構検出を行った。

m検出された遺構は、縄文時代の土器を含む包含層、中世の水田層、近世の掘立柱建物2棟、時期不明の掘立柱建物2棟、土坑8基、ピット多数である。

近世の掘立柱建物はともに柱間2～2.5m、ピット径50～80mmを測る2間×4間の規模をもち、梁間を揃えて並列している。この2棟は隣合う柱列の間隔が約80mmしかなく、あるいは合わせて1棟であった可能性も考えられる。

掘立柱建物は上記のほかに2棟検出されているが、ピットから遺物が出土していないため、確実な時期は押さえることができなかった。しかし、うち1棟（2間×3+α間）については上記近世の掘立柱建物から4mしか離れておらず、ピット径や柱間などの規模は小さいものの、建物の軸方位が近世のものとほぼ同方向であることから、同時期の建物である可能性が考えられる。いま一つの掘立柱建物（1間×2間）はこれらから約60m離れた緩斜面上にあり、ピット径や柱間も小さく、また軸方位も全く異なっていることから、位置的にも時代的にも近世の建物群との関連性は低いと思われる。

m土坑については平面不定形であり、出土遺物も縄文土器から近世陶磁器まで幅広い。

中世水田層は調査区の西隅で検出され、周囲を浅い溝（畦畔？）で囲まれている。今回の調査区内では中世と考えられる遺構が存在しないことから、この水田を営んだ集落は国道を挟んで西側、現在の祝原集落があるあたりに存在したと思われる。

上記の遺構は黄褐色砂質土に掘り込まれており、この地山には少量ながら縄文土器が含まれていた。調査区の北東約300mにある大肥祝原遺跡D区では縄文時代後期～晩期の土器が大量に出土しており、何らかの関連が考えられる。

以上のことから、縄文時代以降大肥川により縄文土器を含む砂層が堆積し、大肥川と三隈川の影響を受けながら徐々に土地が安定した中世以降になって水田化され、近世のある一時期に建物が建てられた後、再び水田の戻り現在に至ったことがわかった。（行時）



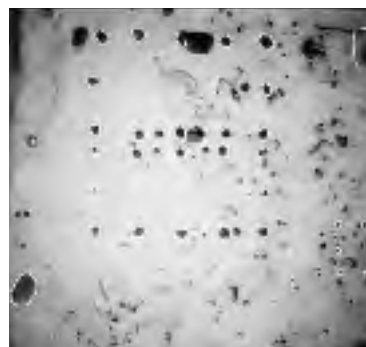
遺跡位置図（1/25,000）



調査区全景（北から）



調査区全景（真上から）



1・2号掘立柱建物

6. 古屋敷遺跡（A～C区）

— 県営圃場整備事業大明地区に伴う発掘調査 —

遺跡は日田市西部の三隈川（筑後川）支流の大肥川沿いに開けた谷に位置し、谷の南側の河岸段丘上に位置する。

n調査はA～C区の3地点を計7,100㎡を対象としてB区より調査を開始した。

m¹ A区では橙褐色砂礫層の地山に柱穴群が確認され、中世期の掘立柱建物が1棟確認された。

m¹ B区では北側と南側を調査し、北側では橙褐色砂礫層の地山に柱穴群の掘り込みが確認され、中世期と考えられる土坑が2基、建物が1棟確認された。調査区内では谷が形成されており、丘陵より流れ出る小河川があったものと考えられる。

m¹ 南側では中世期の柱穴や土坑と共に溝が2条確認された。また、一部に縄文土器の包含層が確認された。この箇所についてはグリッドを設定して掘り下げ、縄文時代前期（5,000年前）の多数の縄文土器や石器が確認されたものの、遺構の存在は確認できず、大肥川の氾濫に伴う包含層と考えられた。

m¹ C区では黄褐色砂質土層の地山に掘り込まれて調査区を南北に縦断する中世期の溝が2条確認され、これらと軸を同じくして4棟の建物が見つかった。溝は集落の用排水路として使用されたものと考えられる。

m¹ 以上のような状況から、本遺跡は、古くは縄文時代前期より周辺に集落が展開していたものと思われる。上流部の大肥条里下河内地区においても同時期の遺構等が確認されていることから、大肥川筋に同時期の集落が展開していた可能性が考えられる。

m¹ その後、中世時期に至り、集落が建てられるようになる。やや下った高野遺跡や上流の大肥中村遺跡などでも同時期の集落の存在が確認されていることから、中世期には川筋に集落が大きく展開していたことを物語っている。

（渡邊）



遺跡位置図（1/25,000）



B区全景



C区全景



縄文土器出土状況



中世の掘立柱建物跡検出状況

7. 町ノ坪遺跡A～C区

—県営圃場整備事業求来里地区に伴う発掘調査—

町ノ坪遺跡は日田市北東部の大字求来里に所在し、有田川の支流である求来里川上流域沿いの狭い谷の河岸段丘上に立地する。

調査は県営圃場整備事業に伴い3ヶ所の地区を対象に行い、それぞれをA～C区と呼び、本年度はA・C区の調査を完結し、B区は次年度へ継続することとした。

〔A区の調査概要〕

この調査区で検出した遺構を調査段階で判明している年代ごとに分けると、次のとおりである。

弥生時代…竪穴住居1軒、土坑5基など

古墳時代…竪穴住居4軒、竪穴3基、溝2条など

古 代…掘立柱建物6棟など

中 世…掘立柱建物2棟など

近世以降…溝7条など

時期不明…掘立柱建物1棟、土坑8基など

この調査区では類例を見ない古墳時代中期と推定される小型の4号竪穴内にカマドに見られるような焼成面3基が隣接して確認された遺構が特筆される。

〔C区の調査概要〕

この調査区で検出した遺構を調査段階で判明している年代ごとに分けると、次のとおりである。

弥生時代…土坑1基など

古墳時代…竪穴住居10軒、土坑5基など

古 代…竪穴住居1軒、掘立柱建物9棟など

中 世…溝1条、掘立柱建物3棟、水田層など

近世以降…溝6条、土坑6基、水田層など

時期不明…竪穴1基、土坑16基など

この調査区では古墳時代中期の20号土坑から市内でも数少ない土器資料として須恵器無蓋高坏と底部に穿孔をもつ甗などがセットで発見されたこと、古墳時代後期の2C竪穴住居では祭祀に使われたとみられる甕の完形品や石製勾玉が出土したこと、近世の溝1条には陶磁器類などの遺物が大量に廃棄されていたことなどが特筆される。

総じて、今回の調査では弥生時代～近世に至る遺構や遺物が発見され、なかでも古墳時代中期～後期と古代・中世の遺構は重複し合って数多く確認されるなど当該期の集落の様子を考える意味では貴重な資料を提示したといえる。しかも、C区での遺構のあり方は中世期に水田化が本格的に行われ始め、集落が山際へと後退する過程を如実に語っている。さらに今後周辺調査が進むことにより、資料に乏しい日田市の古墳時代中期の集落状況、遺跡周辺に存在する古代日田の豪族日下部氏の墓とされる装飾古墳として周知の法恩寺山古墳群や古代に成立したと伝えられる元大原神社との関係などの解明も期待できそうである。

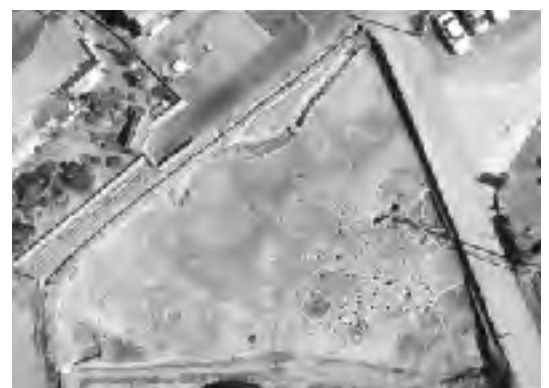
(土居)



遺跡位置図 (1/5,000)



A区全景 (真上から)



C区全景 (真上から)



C区の古代焼失住居

8. 求来里平島遺跡D区

―市道建設に伴う発掘調査―

遺跡は町ノ坪遺跡C区の約50m南にある。過去広域農道建設に伴い1993年にA・B・C地点が調査され、縄文時代後期の竪穴住居や古墳時代中期のカマド初現期の竪穴住居等が検出されている。

調査は広域農道を挟んで南北の、現市道から付替えになる延長約200mについて行った。農道の南側を1区、北側を2区とする。

1区では竪穴住居6基+ α 、掘立柱建物3棟、竪穴状遺構1基、土坑・ピット多数などが検出された。竪穴住居はカマドを有し、出土遺物から6世紀後半頃の集落であると考えられる。道路幅という狭い範囲内ながら残存状況が良い2号竪穴住居は、床面直上で土器類が多く検出され、また南北にカマドを有する（作り替え）など、今回の調査を特徴付けるものとなろう。

2区は現況で1区よりも1m程標高が低く、1区のような地山が見られず、数枚の水田層の下は沼地のような黒灰褐色粘質土の層が続いていた。

この土中には草木の遺存体が多く含まれ、曲物の蓋や杭などが検出された。

また口縁全周を打ち欠き底部中央を穿孔した土師器小皿（糸切り底）が出土しており、古代末～中世初頭と推定される。

調査は次年度も継続となるため、詳細は調査終了を待ちたい。

(行時)



遺跡位置図 (1/5,000)



2号住居遺物出土状況

9. 日田条里四反畑地区

―宅地造成に伴う発掘調査―

遺跡は日田盆地内のやや東側の標高約87mの沖積地に位置しており、調査場所の東側は官庁街、西側は江戸時代の町並みが残る豆田町がある。

調査では土坑15基、ピット101と4枚の水田層を確認した。遺構の年代については全てを完掘したわけではなく、また発掘した遺構出土の遺物も少なくはっきりとはしない部分もあるが、土坑やピットは水田層との関係から古墳時代から奈良時代頃の所産と考えられる。

また、水田層については最も下層の水田面からは須恵器坏身が出土、その上層の水田面からはヘラ切りや糸切り底の土師皿や染付などの遺物が出土している。こうした遺物から4枚の水田層の年代については古代・中世から近・現代の時期と推定される。

今回の調査では遺構の分布や密度は薄く、古墳時代から古代にかけての集落の一端を検出したものと考えられる。氾濫原が多く、盆地内の遺跡の状況ははっきりしない現状を考えると、沖積地における該期の遺跡の様相を知る上で貴重な資料といえよう。

(土居)



遺跡位置図 (1/5,000)



調査区近景

10. 上野第2遺跡

－畑地造成に伴う発掘調査－

遺跡は日田盆地南部、三隈川左岸の「原」と呼ばれる阿蘇溶結凝灰岩でできた標高約130mの台地上にある。今回の調査区は2000年に県教委がバイパス建設に伴い調査を行った調査区の北隣にあたる。現況では周辺からの自然の湧水などを利用して水田耕作が行われている。

調査は土砂採取に伴うもので、対象地全てが掘削を受けることから、試掘の結果遺構の存在が確認された約1,500 について重機で表土を除去し、遺構検出を行った。

検出された遺構は弥生時代中期の小児用甕棺墓6基、祭祀土坑1基、石蓋木棺墓1基、石棺墓1基、方形周溝墓1基、古代の竪穴住居1基、近世の区画溝1条、風倒木痕などである。調査区のほぼ中央に用水路が通っているが、それを境にして西側に墓群が集中していた。

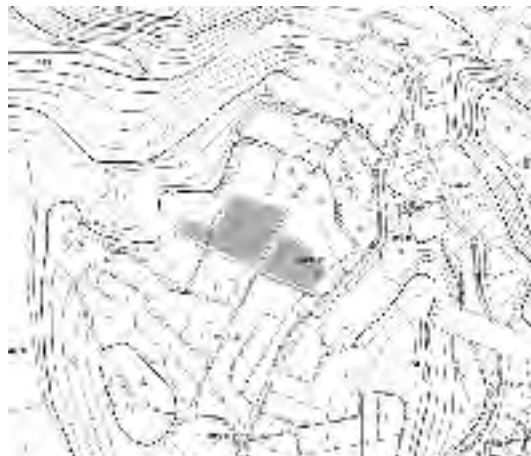
小児用甕棺墓6基は単棺3基、合せ口3基で、合せ口甕棺のうち1基はさらに上甕の周囲を石で囲っていた。甕棺の特徴からすべて弥生時代中期初頭（城ノ越式）のものと考えられる。単棺3基のうち1基は城ノ越式よりも一段階古い、金海式の系統を引く壺棺であり、市内でこれまで調査された小児用甕棺墓では最古級のものである。なおこれら甕棺墓は調査区を南北に横切るように列をなしており、隣接地を県教委が調査した際に検出された小児用甕棺墓群の列の続きにあたる。

祭祀土坑は甕棺群から5mほど離れた位置にあり、ほぼ完形の壺と甕が若干床面から浮いた状態で出土した。これらは三隈川を挟んで対岸にある吹上遺跡の9次調査（1998年）の貯蔵穴出土のものと同時期である。

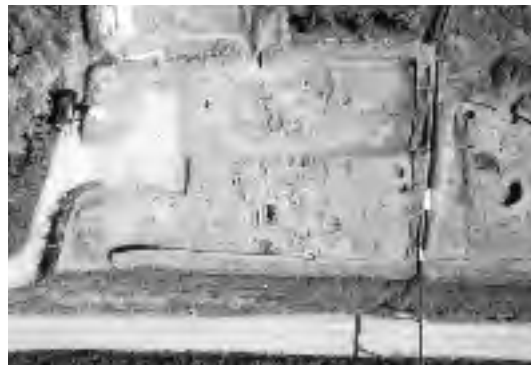
今回甕棺墓のほかにも様々な墓制が検出されたが、なかでも石蓋木棺墓は2段掘りの主体部の長辺が2mを超える大型のもので、主体部側面に木板をはめ込み、小口および蓋に凝灰岩を使用している。なおかつ2段掘りの上面にも凝灰岩で蓋をするという特異な構造である。遺物の出土がなかったため確実な時期は押さえきれなかったが、その大きさや立地から、おそらく小児用甕棺墓群と同時期のもので、県教委調査分も含めてこの墓群の中心をなす遺構であると考えられる。このことにより、従来日田盆地では資料がなく不明であった弥生時代中期初頭の成人埋葬の良好な資料が得られた。

今回の調査区の北側は削平されて水田・畑地となっており、墓群が以北に続いていたかどうかは定かではないが、当該時期の生活遺構が全く検出されず、当時このあたりが墓域として強く認識されていた様子がうかがえる。

（行時）



遺跡位置図（1/5,000）



A区全景（真上から）



C区全景（真上から）



C区の古代焼失住居

1) 平成15年度埋蔵文化財調査の概要

表3 試掘・立会調査一覧表

面積単位：㎡

番号	遺 跡 名	事業主体	事業目的	調査場所	開発面積	調査面積	調査期間	調査区分	遺跡の時代	検出遺構	出土遺物	処 置	詳細地図番号
13	峰崎遺跡	民間	宅地造成	西有田字面ヶ追976-1他	1,128	15	0613	立会	弥生	溝	弥生土器	盛土による保存	三和-36
14	足ヶ迫遺跡隣接地	公共	プール建設	花月字杉山3512	214	10	0520	試掘	－	なし	なし	工事实施	森175-11
15	大波羅遺跡	公共	市道建設	上城内町1113-12他	530	28	0528	試掘	－	なし	弥生土器	工事实施	田島-48
16	片山遺跡	公共	歩道設置	友田字片山1740-5他	1,354	12	0616	試掘	－	なし	なし	工事实施	北友田-21・玉川-58
17	大波羅遺跡	公共	市道建設	田島2丁目141他	590	7	0714	試掘	－	なし	なし	工事实施	田島-49
18	横枕遺跡	民間	無線基地局建設	東有田字葉口2198-1他	300	7	0811	試掘	－	なし	なし	工事实施	町野-3
19	葛原遺跡	民間	無線基地局建設	西有田字天神平633他	300	20	1007～1009	試掘	－	なし	土師質土器	工事实施	三和-37
20	日田条里上ノ馬場地区	民間	駐車場用地造成	城町1丁目406-1他	1,975	12	1022	試掘	－	なし	なし	工事实施	田島-56
21	岩下遺跡	民間	温泉施設建設	高瀬字岩下1559-1	2,900	30	0926	試掘	－	なし	なし	工事实施	高瀬-15
22	牧原遺跡	民間	鉄塔建設	日高字牧原2735-4	300	14	0930～1001	試掘	－	なし	陶磁器	工事实施	高瀬-16
23	辻遺跡	公共	農業基盤整備	堂尾字ハチリュウ1583他	73,858	119	1021～1024	試掘	－	なし	土器・青磁・陶磁器・石器	工事实施	地-217
24	日田条里上手地区	民間	宅地造成	三和字当根町12-1他	1,542	40	1024	試掘	近世以降	溝	弥生土器	工事实施	上手-44
25	業師前遺跡隣接地	公共	農業基盤整備	小野字	80,000	432	1027～1104	試掘	－	なし	陶磁器・石器	工事实施	三河-1・竜体山-1
26	日田条里豆田町	民間	福祉施設建設	豆田町253-2他	1,750		1112	試掘	近世	土坑	陶磁器	工事实施	上手-46
27	日田条里豆田町	民間	店舗建設	豆田町64-3他	933	12	1122	試掘	近世	整地面・水田層	陶磁器・瓦	工事实施	田島-59
28	日田条里上手地区	民間	宅地造成	三和字鶴町3-3他	2,327	50	1224	試掘	近世以降	溝・土坑	土師質土器	工事实施	三和-39
29	日田条里辻畑地区	公共	文化施設建設	三本松1丁目193	9,500	110	0119～0128	試掘	近世・明治以降	土坑・水田層	土器・陶磁器	工事实施	田島-57
30	大波羅遺跡	民間	マンション建設	田島2丁目108	927	35	0127	試掘	弥生・古代・中世	流路・柱穴	なし	発掘調査実施	田島-58
31	荻鶴遺跡	民間	無線基地局建設	友田字荻鶴938-1	180	15	0213	試掘	-	なし	なし	工事实施	北友田-24
32	日田条里咸宜園地区	公共	側溝整備	南豆田字中城99-5他	113	23	0217～0220	立会	近世	溝		調査後工事实施	田島-55
33	日田条里丸山	民間	共同住宅建設	丸山2丁目1147-1	1,949	64	0312～0315	試掘	近世以降	水田層	縄文土器・土師質土器・染付	工事实施	上手-45

※森－森林基本図、地－住宅地図、左記以外は都市計画基本図

表4 書類審査のみの照会一覧表

面積単位：㎡

受付月日	事業主体	事業目的	開発場所	開発面積	詳細地図番号	備考
0430	民間	豚舎敷地開発	有田字瀬戸山356-4ほか	7,669	有田-24	
0523	民間	貸店舗新築工事	本庄町71-1	4,536	玉川-57	
0529	民間	個人住宅新築工事	十二町字水町671-22	99	玉川-59	
0529	民間	分譲用地造成	有田字小金田456-1	2,276	有田-25	
0612	公共	市道改良工事	石井字崩園426ほか	250	小山-6	
0709	民間	店舗新築工事	十二町字一本木674-1	1,691	玉川-60	
0714	民間	無線基地局建設	二串字津辻尾1329-12	25	二串-7	
0728	民間	店舗新築工事	渡里字小見取1130-1	1,394	小迫-41	
0731	民間	倉庫・作業場造成工事	石井字逆満783-2ほか	7,046	北友田-22	
0821	民間	共同住宅建設	北豆田字大道西82	1,455	上手-43	
0912	公共	市道改良工事	内河野字明ヶ谷654-1ほか	170	石井-14	
0919	公共	市道改良工事	田島2-80-4他	318	田島-51	
1007	民間	宅地造成工事	庄手字築場647	66,280	上野-15	
1017	民間	貸店舗新築工事	三和字桑原779-1ほか	2,726	三和-37	
1024	民間	分譲マンション建設	元町120	1,200	田島-50	
1225	民間	個人住宅新築工事	田島1-555	316	田島-52	
0210	民間民間	共同住宅用地造成	庄手字堤の外658-1	1,002	上野-16	
0210	民間	個人住宅新築工事	田島1-555	281	田島-53	
0212	民間	堆肥舎建設	西有田字一尺八寸山	129	森157-6	
0217	民間	駐車場用地造成	友田字荻鶴1038-2	1,241	玉川-61	
0218	民間	資材置場造成	庄手字宮ノ前859-1ほか	2,219	北友田-23	
0303	民間	個人住宅新築工事	田島1-555	390	田島-54	
0315	民間	農地造成工事	小野字中江2128-1他	1,470	地14-3	
0319	民間	土地売却	渡里字大道町53-5ほか	13,434	上手-47	次年度以降、開発行為に伴い試掘
0330		個人住宅新築工事	田島1-555	248	田島-61	

※森－森林基本図、地－住宅地図、左記以外は都市計画基本図

Ⅱ 埋蔵文化財普及・啓発事業

1) 埋蔵文化財センター運営事業

1. 埋蔵文化財センター展示室の開館

平成14年度に開館した展示室は、2年目を迎え、常設展に加え、前年度の発掘調査成果をいち早く公開する速報展や朝日天神山古墳群の県指定史跡申請にあわせた特別展を実施した。

表5 埋蔵文化財センター展示室入館者数

月	総見学者数	団 体	個 人	特 別 展
4月	70	4	66	
5月	153	114	39	速報展(5/19～6/27)
6月	272	55	217	425
7月	43	6	37	
8月	11	11	0	
9月	13	13	0	
10月	173	125	48	企画展(10/4～11/28)
11月	152	36	116	325
12月	8	8	0	
1月	0	0	0	
2月	13	3	10	
3月	24	6	18	
合 計	932	381	551	



展示室見学風景

主な来訪団体：古代朝鮮文化を考える会（18名・センター見学）、大分県ニューライフアカデミー高年大学（30名・センター見学）、日隈公民館「日隈っ子おもしろゼミナール」（17名・センター見学）、杷木町教育委員会ボランティア（19名・センター見学）、国東町文化財調査委員会（12名・センター見学）

2. 平成14年度埋蔵文化財発掘発掘調査速報展（5月19日～6月27日）

平成14年度に市内で行った発掘調査の成果を市民にいち早く公開するため、遺物・写真パネルの展示を行い、市内を中心に425人の来館者があった。

3. 企画展「埴輪で飾られた前方後円墳～磐井の乱前後の北部九州～」(10月4日～11月28日)

表6 企画展展示遺物・写真

古 墳 名	遺 物	所 在 地
津古生掛古墳	鶏形埴輪壺	福岡県小郡市
塚堂古墳	円筒埴輪	福岡県浮羽郡吉井町
野津古墳群	円筒埴輪	熊本県八代郡竜北町
東光寺剣塚古墳	円筒埴輪	福岡県福岡市
猫石丸山古墳	円筒埴輪	大分県豊後高田市
岡寺古墳	円筒埴輪・鶏形埴輪・人物埴輪・猪形埴輪	佐賀県鳥栖市
朝日天神山古墳群	須恵器（大型平底壺・器台・横瓶・提瓶・長頸壺・杯身）、三輪玉 倣製変形五獣鏡・馬具（辻金具・貝製辻金具・鏡板・飾金具・杏葉）	大分県日田市
古 墳 名	写 真	所 在 地
塚堂古墳	空中写真	福岡県浮羽郡吉井町
野津古墳群	姫ノ城古墳石製品出土状況、端ノ城古墳円筒埴輪出土状況	熊本県八代郡竜北町
岩戸山古墳	空中写真、両手をあげた軀負武人	福岡県八女市
猫石丸山古墳	空中写真、円筒埴輪出土状況	大分県豊後高田市
東光寺剣塚古墳	横穴式石室玄室	福岡県福岡市
岡寺古墳	全景、埴輪出土状況	佐賀県鳥栖市
中村双子塚古墳	周溝全景	熊本県山鹿市
野内古墳	全景	大分県西国東郡真玉町
亀都起古墳	全景	大分県玖珠郡玖珠町
朝日天神山古墳群	空中写真、須恵器（大型平底壺・横瓶・高杯）出土状況	大分県日田市

表7 企画展に伴う借用遺物

資 料 名	借 用 先
岡寺古墳出土円筒埴輪・人物埴輪・鳥形埴輪・猪形埴輪・全景・埴輪出土状況写真（ポジ）	鳥栖市教育委員会
東光寺剣塚古墳出土円筒埴輪・横穴式石室玄室写真（モノクロ）	福岡市教育委員会
朝日天神山1号墳出土変形五獣鏡・辻金具・杏葉・鏡板・貝製雲珠・留具	別府大学付属博物館
猫石丸山古墳出土円筒埴輪・後円部全景・埴輪出土状況写真（ポジ）	大分県教育委員会
岩戸山古墳全景・両手をあげた鞍負武人写真（カラープリント）	八女市教育委員会
姫ノ城・端ノ城古墳出土円筒埴輪・姫ノ城石製品出土状況・端ノ城・中ノ城古墳円筒埴輪出土状況写真（ポジ）	竜北町教育委員会
塚堂古墳出土円筒埴輪	吉井町教育委員会
塚堂古墳全景写真（モノクロ）	福岡県教育委員会
江田船山古墳全景・横口式家形石棺写真（ポジ）	菊水町教育委員会
津古生掛古墳出土鶏形埴輪壺	小郡市教育委員会
中村双子塚古墳遺物出土状況写真（ポジ）	山鹿市教育委員会
亀都起古墳全景写真（ポジ）	玖珠町教育委員会
野内古墳全景写真（ポジ）	真玉町教育委員会

4. 考古学講座「タイムトリップひたvol.1」

月日	回数	内 容	講 師	受講人数
0528	第1講	日田市の考古学概論－弥生・古墳時代の日本・九州・日田－	下村智別府大学助教授	30
0611	第2講	米作りの開始と弥生人の生活	行時	31
0625	第3講	弥生のムラと日田の王墓	渡邊	25
0709	第4講	古代の焰(ほむら)～人が火を手にするまで～	酒井	20
		現場へ行こうよ＝発掘現場はどんなところ	園田	
		土中の闇に光を～発掘から展示まで～	田中	
0723	第5講	クニの誕生～吉野ヶ里から小迫辻原へ	梶原秀彦氏	28
0806	第6講	壺で飾られた前方後円墳～朝日天神山古墳群の謎に迫る～	若杉	17
0910	第7講	古墳に描かれた絵画の世界	土居	24
0917	第8講	考古学の楽しみ方・私流～石器との出会い～	原田勝宏氏	20

※申込総人数 37人



考古学講座講義風景

5. 発掘体験・体験教室・出張展示

月日	協 力 ・ 協 賛 先	内 容	場 所	参加人数
0527	日隈小学校	火おこし体験・展示室見学	埋蔵文化財センター	39
0527	夜明小学校	発掘体験	高野遺跡	11
0610	咸宜小学校	展示室見学	埋蔵文化財センター	105
0617	有田小学校	展示室見学	埋蔵文化財センター	62
0714	花月小学校	火おこし体験・発掘体験	埋蔵文化財センター	17
0725	日田ロータリークラブ・日田中央ロータリークラブ主催こども教室	火おこし体験・狩猟体験	埋蔵文化財センター	50
0804	三芳公民館こども教室	火おこし体験	三芳公民館	16
1115	大鶴地区ふるさと祭り	出張展示	静修小学校	209
1226	西有田公民館わんぱく教室	火おこし体験・狩猟体験	西有田公民館	11



西有田わんぱく教室

2) 埋蔵文化財の普及・啓発活動

1. 講師派遣・講師依頼

月日	区分	派遣・依頼先	内 容	講 師
0528	依頼	別府大学	考古学講座第1講「日田市の考古学概論 弥生・古墳時代の日本・九州・日田」	下村智助教授
0728	依頼	小迫辻原研究会	考古学講座第5講「クニの誕生～吉野ヶ里から小迫辻原へ」	梶原秀彦氏
0909	派遣	小迫辻原研究会	朝日天神山古墳群復元模型製作に当たっての学習会	土居
0917	依頼	日田考古学同好会	考古学講座第8講「考古学の楽しみ方・私流～石器との出会い～」	原田勝弘氏
1004	依頼	別府大学	前方後円墳時代の日田～朝日天神山古墳群の語るもの	後藤宗俊教授
1105	派遣	光岡公民館	光岡老人大学講座第5講「日田市の埋蔵文化財」	若杉

2. 刊行物

書名	巻次	体裁	総ページ数	内 容
平成14年度(2001年度) 日田市埋蔵文化財年報	—	A 4	18	平成14年度に日田市教育委員会が行った埋蔵文化財調査事業、埋蔵文化財保護事業、埋蔵文化財普及および啓発事業など。
穴原遺跡	43	A 4	12	スポーツ広場建設に伴う埋蔵文化財調査の成果。縄文時代の包含層出土遺物を所収。
三和教田遺跡Ⅰ地点	44	A 4	7	宅地造成に伴う埋蔵文化財調査の成果。弥生時代の溝や中世の柱穴などを所収。
大肥祝原遺跡・大肥上村遺跡	45	A 4	39	ほ場整備に伴う埋蔵文化財調査の成果。弥生時代の竪穴遺構・土坑・甕棺墓などを所収。
日田条里四反畑地区	46	A 4	15	宅地造成に伴う埋蔵文化財調査の成果。古代の土坑、中世・近世の水田層などを所収。
日田条里大原地区	47	A 4	10	集合住宅建設に伴う埋蔵文化財調査の成果。古墳時代の土坑、古代の竪穴遺構などを所収。
石ヶ迫遺跡	48	A 4	62	ウッドコンビナート建設に伴う埋蔵文化財調査の成果。縄文時代の集石、古墳時代～古代の竪穴遺構などを所収。
大肥吉竹遺跡	49	A 4	214	ほ場整備に伴う埋蔵文化財調査の成果。古墳時代～古代の竪穴住居跡・掘立柱建物・土坑などを所収。
大肥遺跡	50	A 4	49	ほ場整備に伴うA-1区の埋蔵文化財調査の成果。古墳時代～中世の溝・土坑・竪穴状遺構・掘立柱建物などを所収。
本村遺跡3次	51	A 4	37	宅地造成に伴う埋蔵文化財調査の成果。弥生時代、古墳時代・古代の竪穴住居跡・掘立柱建物などを所収。
吹上Ⅱ	52	A 4	240	範囲内容確認調査に伴う9～11次の埋蔵文化財調査の成果。弥生時代の竪穴住居跡・甕棺墓・石棺墓・溝などを所収。

3) 指定文化財

朝日天神山古墳群（県指定史跡—平成16年3月18日告示）

古墳群は大字小迫字天神山の通称宮原台地と呼ばれる台地の南端部に位置する。確認調査の結果、1号墳が墳長33m、全長59m、2号墳が墳長63m、全長85mの規模になることが判明した。特に2号墳は古墳時代後期における県内最大級の古墳であることが確認された。周溝内から全国的にも類例の少ない須恵器の大型平底壺や把手付横瓶が出土したほか、また水晶製三輪玉も表採されている。両古墳の築造時期は6世紀第2四半から第3四半と考えられ、筑紫君磐井の乱後の大和王権の地方支配を考える上で重要な位置を占める古墳群として位置付けられる。なお、指定面積は9539.84㎡で、指定を受けた地番は以下のとおりである。



朝日天神山古墳群全景

㎡大字小迫字宮原1516番地1、1516番地2、字天神山1579番地3、1580番地、1581番地、1582番地、1583番地1、1583番地2、1583番地3、1583番地4、1584番地、1585番地、字杉本原1667番地2、およびこれに含まれる里道

4) その他

㊦. 資料借用・資料貸出

受付月日	区分	資 料 名	借 用 ・ 貸 出 先	目 的
0401	貸出	ガランドヤ古墳群写真（ポジ）・報告書・ビデオ㎡	NHK	番組制作事前検討資料
0425	貸出	吹上遺跡写真（ポジ）㎡	日田考古学同好会	会報掲載
0603	貸出	朝日天神山古墳群出土大型平底壺・横瓶・三輪玉㎡	大分県立歴史博物館	展示
0613	貸出	荻鶴遺跡出土鉄金筵・転用羽口写真（ポジ）㎡	榑小学館	書籍掲載
0618	貸出	ガランドヤ古墳群・法恩寺山古墳群・穴観音古墳写真（ポジ）㎡	日田考古学同好会	講演資料
0714	貸出	朝日宮ノ原遺跡中世墓・出土遺物集合写真（カラーネガ）㎡	大分県教育委員会	パネル掲載
0714	貸出	小迫辻原遺跡・大肥中村遺跡・大肥遺跡・会所宮遺跡出土土器㎡	大分県立歴史博物館	展示および図録掲載
0717	貸出	吹上遺跡出土貝輪・青銅器・玉、空撮・甕棺・航空写真（ポジ）㎡	九州歴史資料館	展示および図録掲載
1009	貸出	吹上遺跡出土青銅器㎡	別府大学日田歴史研究センター	講演資料
1014	貸出	吹上遺跡甕棺墓写真（ポジ）㎡	洋泉社	書籍掲載
1128	貸出	三稜尖頭器ほか旧石器資料㎡	個人	講演資料
1215	貸出	朝日天神山古墳群出土大型平底壺写真（ポジ）㎡	榑小学館	書籍掲載
0206	貸出	吹上遺跡甕棺出土状況写真（ポジ）㎡	榑小学館	書籍掲載

㊦. 資料寄託・寄贈

受付月日	区 分	資 料 名	数 量	寄託・寄贈者	備 考
0303	寄 贈	土師器高杯㎡	2 ㎡	個 人	
0107	寄 贈	乾隆通寶ほか古銭㎡	23㎡	個 人	
0714	寄 贈	土師器杯㎡	1	個 人	

Ⅲ 埋蔵文化財センターおよび日田市立博物館受領図書一覧

山形県

（財）山形県埋蔵文化財センター／埋文やまがた 第26号（2003） 東北芸術工科大学考古学研究室／置賜地域の終末期古墳1（2002） 高安窯跡群（2003）

栃木県

（財）栃木県埋蔵文化財センター／やまかいどう 33・34・35（2003～2004） 足利市教育委員会／史跡足利学校跡保存整備報告書（建築・庭園・外構・経過・発掘調査編）（1992）

埼玉県

埼玉県立博物館／埼玉県立博物館紀要20（1995）

千葉県

国立歴史民俗博物館／炭素14年代測定と考古学 国立歴史民俗博物館研究業績表（2003）

東京都

港区教育委員会事務局／旗本柴田家屋敷跡遺跡・勝安房邸跡発掘調査報告書（2003） 国際縄文学会／ニュースレター「縄文」第七号（2003） 江戸東京博物館／東京都江戸東京博物館研究報告第2号（1997） 立教大学学校・社会教育講座／立教大学博物館研究 43・48（1997～2002） 明治大学博物館事務局／明治大学博物館年報 1994年度～1997年度・1999年度（1995～2000） 明治大学博物館研究報告 第1・2・4号（1996～1999） 明治大学博物館研究報告 第8号（2002） 小倉館／考古資料大観1・7（2003） 国際縄文学会／縄文ジャーナルvol.1～3（2003）

神奈川県

平塚市博物館／平塚の遺跡 旧石器・縄文・弥生・古墳時代編（2000） 平塚市博物館年報 19・20・23・25（1996～2002） 平塚の道祖神（1996）

長野県

長野市立博物館／長野市立博物館 紀要 第2号～第3号（1994～1995） 更埴市教育委員会／更埴条里水田址遺跡（1996） 田中沖遺跡（1997） 更埴市の石造文化財（2001） 中ノ宮遺跡・南乗水遺跡（2002） 屋代遺跡群 附松田館（2002） 大塚遺跡①（2003） 有明山將軍古墳・食科將軍塚古墳（2002） 長野市教育委員会／松代城跡 国補神田川改修事業地点（1995） 浅川扇状地遺跡群 吉田四ツ屋遺跡・浅川扇状地遺跡群 三輪遺跡（6）・東河原遺跡（1996） 浅川扇状地遺跡群 駒沢城跡・小島柳原遺跡群 中俣遺跡①（1996）浅川扇状地遺跡群 吉田古屋敷遺跡（1997）上九反遺跡（1997）裾花川扇状地遺跡群 寺村遺跡（1997） 長野遺跡群 西町遺跡（1998） 東河原遺跡（2）・田中沖遺跡①（1998） 長野市埋蔵文化財センター所報 14（2003）

愛知県

名古屋大学文学研究科考古学研究室／名古屋大学文学部研究論集146 考古学抜刷第18集（2003） （財）瀬戸市埋蔵文化財センター／瀬戸市埋蔵文化財センター年報 平成14年度（2003）

三重県

三重県埋蔵文化財センター／三重県埋蔵文化財センター通信 みえ 第36号（2004）

滋賀県

守山市教育委員会／守山の文化財（1997） 服部伊関発掘調査概報 市立埋蔵文化財センター開館記念（1980） 下之郷遺跡（2001） 守山市埋蔵文化財センター／守山の歴史を掘る3（2000）

弥生から古墳時代の守山（1998） 湘南における古墳時代のはじまり 平成13年度秋季特別展（2001）

京都府

（財）京都府埋蔵文化財調査研究センター／文化財情報 第82-83-87-88号（2003） 同志社大学歴史資料館／考古学に歴史を読む（2003） 同志社大学歴史資料館 館報第6号（2002年度）（2003）

加悦町教育委員会／日吉ヶ丘遺跡・赤石大師山古墳群（2003） 温江遺跡（第5次）（2003）

大阪府

高槻市教育委員会／嶋上遺跡群27（2003） 史跡・今城塚古墳 平成13年度・第5次規模確認調査（2002） 高槻市文化財年報 平成13・14年度（2003） 大阪府立弥生文化博物館／平成15年春季特別展 弥生創世記（2003） 平成15年秋季特別展 弥生文化研究への熱いまなざし（2003） 平成14年春季特別展（2002） 松原市教育委員会／たじひのどより 松原市文化財情報誌 No.2（2003）

兵庫県

姫路市教育委員会／T S U B O H O R I 平成13年度（2001）（2003） 大手前大学史学研究所／大手前大学史学研究所紀要第1・2号（2002～2003）

奈良県

（財）元興寺文化財研究所／元興寺文化財研究 82-83（2002～2003）（財）元興寺文化財研究所案内（2001） 1993年度秋季特別展 銅鏡 ―保存科学からのアプローチ―（1993） 奈良県橿原市における保存修理後遺物の現状と課題 奈良県立橿原考古学研究所／大和木器資料Ⅰ 橿原考古学研究所研究成果第3冊（2000） 日中の考古学 5・6世紀の国際交流 橿原考古学研究所公開講座 演会（2003） 橿原考古学研究所年報26・27・28（2000～2002） 考古学論攷 橿原考古学研究所紀要 第24・25-26冊（2001～2003） 西坊城遺跡Ⅱ（2003） 桐山和田遺跡（2002） 白石遺跡（2003） 東大寺三社池 史跡東大寺旧境内の発掘調査（1996） 西坊城遺跡（1999） 長谷寺（1999） 下永東方遺跡（2001） 菅田遺跡（2000） 居伝遺跡（2000） 山中大塚古墳（1996） 伴堂東遺跡（2002） 三ツ塚古墳群（2002） 中町西遺跡（2003） 能峠遺跡群Ⅲ（1999） 後出古墳群（2003） 上5号墳 細川谷古墳群（2003） 北野ウチカタビロ遺跡（2003） 久米石橋遺跡（藤原京右京十二条五坊）（2003） 保津・宮古遺跡 第3次発掘調査報告（2003） 坪井・大福遺跡（2000） 南郷遺跡群①（2000） 宮ノ平遺跡Ⅱ（2003） 棚機神社東古墳（2002） 岩清水スゲ谷古墳（2003） ハミ塚古墳（2003） 下永東城遺跡（2003） 橿原考古学研究所年報29 平成14年度（2002）（2003） 青陵第110・111号（2003） 奈良文化財研究所／古代の官衙遺跡Ⅰ遺構編（2003） 奈良文化財研究所概要2003（2003） 奈良文化財研究所紀要2001～2003（2001～2003） 奈良文化財研究所埋蔵文化財センター／埋蔵文化財ニュース 111-113（2003） 帝塚山大学考古学研究所／帝塚山大学考古学研究所研究報告①（2002） 河合町教育委員会／宮堂遺跡Ⅱ（1995） 奈良大学文学部文化財学科／文化財学報第二十一集（2003）

和歌山県

（財）和歌山市文化体育振興事業団／太田・黒田遺跡 第45・48次・52次発掘調査概報（2001） 史跡和歌山城 第25・26次発掘調査概報（2002） 和歌山城跡 第9次発掘調査概報（2003）

発掘物語2003（速報天リーフレット）（2003）

島根県

島根県教育委員会／増補改訂 島根県遺跡地図Ⅰ（出雲・隠岐編）（2003） 史跡出雲国府跡Ⅰ（2003） 出雲地方における前方後円墳の出現とその時代（2003） 島根県教育庁埋蔵文化財調査センター年報11 平成14年度（2003） 石見銀山 遺跡総合調査概報（3）平成15（2003）年3月（2003） 石見銀山遺跡ニュース 第5号（2003） 石見銀山〔安養寺・大安寺跡・大龍寺跡・奉行代官墓所外〕（2003） 西川津遺跡Ⅳ（2003） 弥生時代の磨製石器（2003） 斐伊川放水路 発掘物語 総集編（2003） 権現山城跡、権現山石切場跡、白石谷遺跡、三田谷Ⅰ遺跡（2003） 古志本郷遺跡Ⅴ（2003） 古志本郷遺跡Ⅵ K区の調査 本文編、第1分冊・第2分冊・写真図版編（2003） 長廻遺跡（Vol.2）・権現山古墳（2003） 西Ⅰ遺跡・祇園原Ⅰ遺跡 石橋Ⅰ遺跡・高瀬城北遺跡（2003） 尾白Ⅰ遺跡、尾白Ⅱ遺跡、家ノ脇Ⅱ遺跡3区、川平Ⅰ遺跡（2003） 家の後Ⅰ遺跡、垣ノ内遺跡（2003） 殿淵山遺跡・獅子谷遺跡②（2003） 神原Ⅱ遺跡③（2003） 戸井谷遺跡（2003） 板屋Ⅲ遺跡②（2003） 貝谷遺跡②、丸山金屋子遺跡（2003） 斐川町教育委員会／杉沢Ⅲ遺跡（2001） 平成11・12年度斐川中央工業団地造成に伴う杉沢Ⅲ・堀切Ⅰ・三井Ⅱ遺跡発掘調査報告書（2001）

岡山県

岡山市教育委員会／岡山市埋蔵文化財センター年報2 2001(平成13)年度（2003） 中尾平山遺跡（2003） 妹尾住田遺跡（2003） 津山市教育委員会・津山弥生の里文化財センター／橋本塚古墳群（2003） 年報 津山弥生の里 第10号（平成13年度）（2003） 岡山理科大学／吉井川～流域を科学するPart1～第4回岡山学シンポジウム（2002） 備前焼を科学する（2002）

山口県

（財）山口県教育財団・山口県埋蔵文化財センター／東禪寺・黒山遺跡（東大門・上徳田地区）（2003） 矢田遺跡（2003） 竜王南遺跡①（2003） 下関市立考古博物館／玉つくり 平成15年度企画展（2003） 宮の原遺跡（2003） 永福遺跡（2003） 長門国府跡（長門国府跡周辺遺跡群第9・10・12・13・14・15次発掘調査）（2001～2003） 長門鉾銭所跡（2003） 塚の原遺跡（2003） 矢風呂遺跡（2003） 伊合遺跡（2001） 迫山南麓遺跡（2002） 吉母堂の下遺跡（2002） 延行条里遺跡（2002） 熊野原遺跡（2001） 下関市立考古博物館年報2 平成8年度（1997） 研究紀要 第1号（1997） 研究紀要 第7号（2003） 下関市立考古博物館年報8 平成14年度（2002） 山口大学埋蔵文化財資料館／山口大学構内遺跡調査研究年報ⅣⅩⅣ（2000） 学内発掘20年の歩み（1998）（財）山口県埋蔵文化財センター／陶ヶ尻 第16号（2003）

愛媛県

松山市教育委員会／樽味四反地遺跡（2002）（財）松山市生涯学習振興財団埋蔵文化財センター／伊台惣部遺跡（2002） 桑原地区の遺跡Ⅳ（2002） 松山市埋蔵文化財調査年報13 平成12年度（2001） 松山市埋蔵文化財調査年報14 平成13年度（2003） 船ヶ谷遺跡 4次調査（遺構・遺物編）（2002） 福音小学校構内遺跡Ⅱ（古墳時代以降編）（2003） 船ヶ谷遺跡4次調査Ⅱ・福音小学校構内遺跡Ⅲ（2003） 福音寺遺跡・星ノ丘遺跡・北久米遺跡（1984） 高月山古墳群調査報告書（1988） 斎院の遺跡（1994） 松山市考古館／平成15年度特別展 渡来人の足跡（2003） 愛媛大学埋蔵文化財調査室／樽味遺跡Ⅳ（2003） 愛媛大学埋蔵文化財調査室年報1999・2000年度（2003）

福岡県

福岡県教育委員会／大の遺跡Ⅰ・日誌遺跡Ⅰ（2003） 菩提遺跡Ⅰ（2003） 忠隈宮坂遺跡・鶴三緒七浦遺跡（2003） 西新町遺跡Ⅴ（2003） 内ヶ磯窯跡3（2003） 福岡県埋蔵文化財発掘調査年報 平成13年度（2003） 福岡市教育委員会／梅林遺跡 第2次調査（2001） 羽根戸南古墳群 第3次調査本文・図版編（2001） 福岡外環状道路関係埋蔵文化財調査報告10（2001） 比恵29・30（2001） 箱崎10（2001） 古塚7（2001） 博多75・76・77・78・79（2001） 那珂27・28・29（2001） 吉武遺跡群ⅩⅢ（2001） 高畑遺跡17次（2001） 雀居遺跡6（2001） 井尻B遺跡9（2001） 中南部⑥（2001） 福岡市板付周辺遺跡調査報告書 第22集（2001） 片江B遺跡（2001） 樋井川A遺跡（2001） 西新町遺跡7（2001） 有田・小田部 第36集（2001） 入部ⅩⅠ（2001） 松木田遺跡群2（2001） 中山遺跡（2001） 原遺跡10（2001） 神松寺遺跡2、拾六町平田遺跡3、大林遺跡1（2001） 卯内尺古墳（2001） 野方久保遺跡（2001） 周船寺遺跡群4（2001） 九州大学統合移転用地内埋蔵文化財発掘調査概報1（2001） 国史跡 元寇防塁（生の松原地区）復元・修理報告書（2001） 鴻鑑館跡11 平成11年度発掘調査報告書（2001） 福岡市埋蔵文化財年報 VOL.14 平成11年度（1999）度版（2001） 青木3（2003） 有田・小田部38（2003） 井尻B遺跡11（2003） 今宿遺跡2（2003） 梅林遺跡4（2003） 大橋E遺跡5（2003） 大原D遺跡群4（2003） 上月限B遺跡（2003） 九州大学統合移転用地内埋蔵文化財発掘調査概報2（2003） 元岡・桑原遺跡群2（2003） 鴻鑑館跡13（2003） 雀居7・8・9（2003） 重留村下遺跡2（2003） 下月限C遺跡Ⅲ（本文編・図版編）（2003） 福岡外環状道路関係埋蔵文化財調査報告17（2003） 笠按遺跡（2003） 寺島遺跡（2003） 野多目A遺跡（2003）

下月隈鳥越遺跡・水町古墳 (2003) 那珂33 (2003) 博多86・88・89～95 (2003) 箱崎14・15 (2003) 羽根戸古墳群 5 (2003) 比恵31・32 (2003) 福岡城跡大手門 (2003) 三古4 (2003) 麦野A遺跡 (2003) 吉武遺跡群X V (2003) 諸岡B遺跡20次 (2003) 席田青木遺跡 5 (2003) 吉塚 8 (2003) 立花寺 5 (2003) 飯氏二塚古墳 2 (2003) 福岡市埋蔵文化財年報Vol.16 平成13 (2001) 年度版 (2003) (財)北九州市芸術文化振興財団埋蔵文化財調査室／研究紀要第17号 (2003) 上貫(C)遺跡 5 5区・6区 (2002) 長野尾登遺跡第3地点 2 (2003) 横代堂ノ前遺跡(2区～5区) (2003) 上清水遺跡Ⅵ区 (2003) 片野遺跡(第3次調査) (2003) 金丸遺跡4 (2003) 小倉城代米御藏跡Ⅲ (2003) 志井雀木遺跡 (2003) 横代峠遺跡 (2003) 杣網南塚遺跡1(第1地点) (2003) 加治屋敷遺跡1 (2区・3区の調査)、杣網南塚遺跡2 (第2地点の調査) (2003) 堅町遺跡第2地点 (2003) 浅子窯跡 (2003) 重留遺跡第7地点 (2003) 長野フンデ遺跡3 (2003) 横代堂ノ前遺跡1区 (2003) 重留遺跡第4地点 (2003) 三郎久遺跡 (第2地点の調査) (2003) 寺町遺跡2 (1～4区の調査) (2003) 埋蔵文化財調査室年報19 平成13年度 (2003) 久留米市埋蔵文化財センター／まいぶん久留米 第2号 (2003) 久留米市教育委員会／第27回 くるめの考古資料展「いま、弥生の風が吹く」(2002) チョットみ展遺跡発掘速報2002 (2002) 久留米城下町遺跡 第15次調査 (2003) 京限侍屋敷遺跡 第3次調査 (2003) 久留米城外郭遺跡 第7次調査 (2003) 日渡遺跡群 正福寺遺跡 第4～6次調査 (2003) 久留米市埋蔵文化財調査集報V (2003) 碓遺跡 (2003) 金丸遺跡(※ 第5次調査 (2003) 筑後国三藩郡銜跡 (2003) 筑後国府跡 平成14年度発掘調査報告 (2003) 平成14年度久留米市内遺跡群 (2003) 田主丸町教育委員会／西郷天神免遺跡 (2001) 田主丸大塚古墳 (2001) 益生田古墳群特 (2001) 鷹取堺町遺跡 (2001) 寺徳古墳 (2001) 善院古墳群 (2002) 隈 3号墳 (2002) 善院古墳群(※) (2003) 石垣高尾遺跡 (2003) 清長橋古墳群 (2003) 九州大学大学院人文科学研究所考古学研究室／佐賀県大友遺跡Ⅱ (2003) 「遺跡情報と都市情報の解説から活用へ」シンポジウム論文集 (2003) 新吉富村教育委員会／宇野地区遺跡群V (2003) 春日市教育委員会／伯丈社遺跡 (2003) 春日市埋蔵文化財年報10 平成13年度 (2003) 北九州市立考古博物館／弥生の鉄文化とその世界 (1995) 築城町／史跡 船迫窯跡保存整備基本設計 (2000) 築城町教育委員会／桜本・西福寺遺跡 (2001) 大刀洗町教育委員会／高橋城跡1・2 (2003) 山隈中西又原遺跡 (2003) 那珂川町教育委員会／大年田遺跡群 (2003) 片瀬山古墳群 (2003) 丸ノ口古墳群保存整備事業報告書 (2003) 若宮町教育委員会／原田遺跡群Ⅰ 損ヶ熊・東向原古墳群 (2003) 中遺跡群V 杭田遺跡Ⅲ区、宮ノ下遺跡Ⅰ区 (2003) 小原古墳群Ⅱ (2003) 福岡大学考古学研究室／佐賀県・東十郎古墳群の研究、対馬・サイノヤマ古墳の調査 (2003) 太宰府市教育委員会／大宰府・佐野地区遺跡群15・16 (2002～2003) 水城跡2(2003)連歌屋遺跡1(2003)太宰府市文化ふれあい館年報 第6号 平成13 (2001) 年度(2002) 筑後市教育委員会／西平田上京手遺跡(2003) 羽大塚中道遺跡Ⅰ (2003) 羽大塚山ノ前遺跡 (2003) 羽大塚源ヶ野遺跡 (2003) 筑後西部第2地区遺跡群 (Ⅵ)・(Ⅶ) (2003) 筑後市内遺跡群V (2003) 水田天満宮本殿保存修理工事報告書 (2003) 九州歴史資料館／大宰府へ人が動きものが動く (2003) 遠賀町教育委員会／花園遺跡 (2003) 先ノ野遺跡Ⅱ (2003) 飯塚市教育委員会／川島 3・12号墳 (2002～2003) 行橋市教育委員会／徳永泉古墳・徳永法師ヶ坪遺跡 (2002) 今井祇園祭 (2002) 小都市教育委員会／苅又地区遺跡群V (1996) 福童山の土遺跡 5 (2003) 横隈上内畑遺跡 5 (2003) 三沢ハマコの宮遺跡(※) (2003) 力武内畑遺跡 5・6 (2003) 西島遺跡 6・7 (2003) 三沢宮ノ前遺跡 2 (2003) 三沢北中尾遺跡 3 地点 (2003) 大保龍頭遺跡 3・4・5 (2003) 三沢宮ノ原遺跡 (2003) 苅又地区遺跡群Ⅲ (1996) 大崎遺跡 1 (2003) 大板井遺跡XⅧ (2003) 大板井遺跡19 (2003) 立花町教育委員会／北山八竜遺跡(1997) 小倉谷横穴墓群(1999) 町内遺跡等分布地図 (2000) 古賀市教育委員会／主要地方道筑紫野古賀線改良工事関係埋蔵文化財調査報告書第1・2集 (2000) 川原西地区遺跡群第1地点(※) (2000) 六ノ坪・百田遺跡 1 (2000) 極田・杉ノ木遺跡 (2001・2003) 川原西地区遺跡群Ⅲ (2002) 鹿部田岡遺跡 第2次・6次・7次調査 (2003) 馬渡・束ヶ浦遺跡 (2003) 筑紫野市教育委員会／大宰府赤坊跡 第200次発掘調査 (2003) 大牟田西遺跡 (2003) 原田第1・2・40・41号墓地 上巻 (2003) 直方市教育委員会／植木平遺跡 (2003) 津田町遺跡 (2003) 雲心寺・随尊寺墓地遺跡 (2003) 豊津町教育委員会／徳永川ノ上遺跡G地区 (2003) 小笠原藩市井方役所跡 (2003) 八女市教育委員会／釘崎1号古墳・丸山古墳 (2003) 粕屋町教育委員会／戸原五寸田遺跡 (2002)

佐賀県

佐賀県教育委員会／中原遺跡 (2002) 吉野ヶ里銅鐸 (2002) 梅白遺跡 (2003) 吉野ヶ里遺跡 (2003) 佐賀市教育委員会／牟田口遺跡 牟田口遺跡1～3区・三本柳遺跡の調査 (2003) 石土井遺跡・上九郎遺跡・薬師丸五本柳遺跡・園田遺跡 (2003) 佐賀市埋蔵文化財確認調査報告書2000年度 (2003) 鳥栖市教育委員会／本行遺跡 (1997) 養父遺跡・四の坪遺跡・本村遺跡・原古賀遺跡 (1997) 蔵上遺跡Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ (2000) 内精遺跡 (2000) 藤木遺跡・今泉遺跡 (2000) フケ遺跡・神山遺跡・内畑遺跡 (2003) 所熊山古墳群 (2003) 三田川町教育委員会／下中枕遺跡 (2003) 吉野ヶ里遺跡 (1999) 塩田町教育委員会／志田焼 塩田のやきもの (2000) 塩田の古唐津 塩田のやきもの4・5 (1999・2001) 町内窯跡発掘調査報告書 町内古陶窯跡発掘調査 7 (2003) 佐賀県立博物館・佐賀県立美術館／佐賀県立博物館・佐賀県立美術館 年報 第24・28号 (1994・1998) 小城市立歴史資料館・小城市立中林梧竹記念館／調査研究報告書第2集 (2001) 小城市教育委員会／久蘇遺跡 (2001) 唐津市教育委員会／唐津市内遺跡確認調査 (19) (2003) 鶴ノ尾遺跡 (1)・(2) (2003) 徳蔵谷遺跡 (4) (2003) 半田引地遺跡 (2003) 鎮西町教育委員会／平野町遺跡 (第Ⅱ区) (2003) 富士町教育委員会／富士町内遺跡発掘調査報告書 平成7年度～13年度 (2003) 中原遺跡Ⅰ区 (2003) 神埼町教育委員会／西田遺跡 (2000) 船塚遺跡 (2000) 荒堅日遺跡Ⅱ区 (2000) 唐香原遺跡Ⅱ区・Ⅲ区 (2001) 馬郡遺跡Ⅲ区 (2001) 利田柳遺跡 (2001) 城原一本松遺跡(※) (2001) 馬郡遺跡 (2002) 猿嶽古墳群 (2002) 花浦古墳群 (2002) 八子三本黒木遺跡Ⅱ区・Ⅰ区 (2002～2003) 尾崎土生遺跡16区 (2003) 尾崎土生遺跡 (2003) 小瀬遺跡13区 (2003)

長崎県

大村市文化財保護協会／玖島城跡 (2002) 黒丸遺跡ほか発掘調査概報 Vol.3 1998～2002 (2003) 厳原町教育委員会／国史跡 矢立山古墳群 (2002) 南串山町教育委員会／妙見床 (2003)

国見町教育委員会／松尾遺跡 (2002) 石原遺跡・矢房遺跡 (2003) 精

熊本県

熊本市教育委員会／野原遺跡Ⅰ (2003) 陳山庵寺 (1996) 池辺寺跡V (2003) 島崎遺跡 (2003) 神水遺跡(※) (2003) 熊本市埋蔵文化財調査年報第5号 平成12年度～平成13年度 (2003) 熊本市埋蔵文化財発掘調査報告集 平成13・14年度 (2003) 宇土市教育委員会／宇土城跡 (西岡台) V・Ⅵ (2002・2003) 境目遺跡 (2001) 宇土市史研究第23号 (2002) 菊池市教育委員会／木柑子遺跡群 (2003) 城南町教育委員会／宮地遺跡群 (2003) 菊陽町教育委員会／菊陽町遺跡地図 菊陽町遺跡詳細分布調査 (2003) 人吉市教育委員会／史跡 人古城跡XⅠ (2003) 鞠智城跡 歴史公園鞠智城・温故創生館 (2003) 熊本大学文学部考古学研究室／考古学研究報告 第38集 (2003) 熊本大学文学部／朝鮮半島系渡来文化の伝播・普及と首長系諸変動の比較研究 (2003) 熊本大学埋蔵文化財調査室／熊本大学埋蔵文化財調査室年報9 2002年度 (2003) 熊本大学構内遺跡発掘調査報告Ⅰ 1994・1995年度 (2003) 植木町教育委員会／笹尾遺跡(※) (2002) 北無田遺跡 (2003) 植木町内遺跡発掘調査報告書 平成14年度 (2003) 益城町教育委員会／杉の久保遺跡 (2004) 相良村教育委員会／西原遺跡 (2003) 精

大分県

大分県教育委員会／葛木遺跡 (2003) 八坂の遺跡Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ (2003) 和泉第1遺跡、和泉第2遺跡、東力ヤノ原遺跡 (2003) 上松岡遺跡 (2003) 横遺跡 (2003) 照湯遺跡 (2003) 又江遺跡 (2003) 野村台遺跡 (2003) 古田遺跡 (2003) 坂手前遺跡 (2003) 寺畑遺跡 (2003) 大分の中世城館 第二集・第三集 (2003) 大分県文化財年報11 平成13(2001)年度版 (2003) 発掘された宗廟の城下町 Vol.2 (2003) 大分市教育委員会／大友館跡発掘調査概報Ⅰ・Ⅱ (2000～2001) 大分市 市内遺跡確認調査概報2001年度 (2002) 府内城・城下町遺跡 (2000) 国指定 亀塚古墳整備事業報告 (2000) 長迫遺跡 (2001) 南蛮都市・豊後府内 都市と交易 (2001) 大友府内4 (2002) 大野大友館 (上原館) 跡 (2000～2002) 城原・里遺跡 第5次調査の概要 古代海部の再現 (2002) 園遺跡 (1992) 国指定史跡 豊後国分寺跡 (1993) 下郡遺跡群 (1993) 城南遺跡 (1999) 玉沢地区条里跡 第2次発掘調査報告書 第1・2分冊 (2002) 大分市埋蔵文化財調査年報vol.10・12 (1999・2001) 大分市の文化財 (1997) 中津市教育委員会／神代地区条里跡 福成地区・龍田地区 (2003) ガラノノ遺跡 (1984) 幣旗邸古墳 (1960) 石堂池遺跡 (2003) 停車場遺跡 (2003) 九重町教育委員会／時代の旅人 (2002) 失われた風景 (2003) 大分県立歴史博物館／六郷山寺院遺構確認調査報告書Ⅸ・Ⅹ (2001・2002) 豊後国安岐郷2・3 (2001・2002) 2003特別展 二千年の鼓動―弥生土器の世界―図録 (2003) 大分市歴史資料館／府内及び大友氏関係遺跡総合調査研究年報V・Ⅵ (1997・1998) 宇佐市教育委員会／宇佐地区遺跡群発掘調査概報XⅠV精 (2002) 別府・樋田前遺跡 (2003) 山ノ下横穴墓、中原遺跡、上居屋敷遺跡、神田遺跡、別府遺跡 (2002) 臼杵市教育委員会／特別史跡 臼杵磨崖仏 (大日石仏) 保存整備工事報告書 (2003) 日出町教育委員会／日出城 (嶋谷城) 本丸跡 (2003) 佐伯市教育委員会／佐伯城下町遺跡 (2003) 豊後高田市教育委員会／長岩屋地区遺跡発掘調査報告書 (2003) 弘田塚2号墳 (2001) 荒尾地区遺跡発掘調査報告書精 (2002) 佐野地区遺跡発掘調査報告書 (2002) 嶺崎地区遺跡発掘調査報告書 (2002) 三重町教育委員会／三重地区遺跡群発掘調査概報Ⅶ (2003) 三光村教育委員会／三光村の遺跡 (2003) 野津原町教育委員会／下原遺跡 (2003) 緒方町教育委員会／井上条里遺跡 (2003) 天瀬町教育委員会／高瀬Ⅲ遺跡・亀石山遺跡 (第1・2・3・4・5分冊) (2003)

宮崎県

宮崎県教育委員会／西都原13号墳 (墳丘出土古墳時代遺物編) (2001) 特別史跡 西都原古墳群 (2001) 寺崎遺跡 日向国庁を含む官衙遺跡 (2001) 西都市教育委員会／堂ヶ嶋第2遺跡 (2003) 外原遺跡群 (2003) 都於郡城跡発掘調査概要報告書Ⅱ (2003) 西都原地区遺跡・日向国分寺跡 (2003) 平成14年度西都原古墳研究所・年報第19号 (2003) 宮崎県埋蔵文化財センター／鵜尾遺跡・坂ノ下遺跡 (2002) 右巻ヶ辻遺跡 (第2次調査) (2002) 教塚遺跡・枳屋遺跡・大郎遺跡 (2003) 上置城空堀跡 (2003) 桑ノ木遺跡 (2003) 阿蘇原上遺跡 (2003) 瀬戸前1号横穴墓・瓜生野村古墳30号 (横穴墓) (2003) 祇園原遺跡・春日地区遺跡第2地点 (2003) 布平遺跡・古城遺跡 (2003) 五ヶ村遺跡・大野原遺跡 (2003) 東九州自動車道 (都農～西部間) 関連埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅲ (2003) 八幡遺跡 (2003) 大岩田上村遺跡 (2003) 柵野第1遺跡 (2003) 山崎上ノ原第2遺跡・山崎下ノ原第1遺跡 (2003) 音明寺第2遺跡 (2003) 埋蔵文化財通信 みやざき第5号 (2004) 宮崎市教育委員会／史跡 生目古墳群 保存整備事業発掘調査概要報告書Ⅳ (2003) 宮脇第2遺跡 (2003) 北中遺跡Ⅲ (2003) 東郷町教育委員会／八瀬田遺跡 (1994) 上野原遺跡 (2003) ハッ山遺跡 (2003) 三股町教育委員会／三股町内遺跡Ⅲ (2003) 清武町教育委員会／角上原遺跡群Ⅱ (1993) 坂元遺跡 (2001) 上猪ノ原遺跡Ⅰ・2 (2002～2003) 田野町教育委員会／高野原遺跡B・C区(2) 3 (2003) 鹿村野地区遺跡 (2003) 高城町教育委員会／町内遺跡発掘調査報告書Ⅱ (2002) 様ヶ野遺跡 (2002) 町内遺跡発掘調査報告書Ⅲ (2003) えびの市教育委員会／草刈田遺跡 (2004) 東川北地区遺跡群 彦山第5遺跡 (2004) 精

鹿児島県

鹿児島県立埋蔵文化財センター／三角山特遺跡 (P地点) (2002) 鳴野原遺跡 (2002) 垂水・宮之城 島津家屋敷跡 (2003) 市ノ原遺跡 (第1地点) (2003) 犬ヶ原遺跡 (2003) 鶴尾遺跡 (2003) 上野原遺跡第5・6・7分冊 (2003) 雪山遺跡・猿引遺跡 (2003) 中原遺跡 第1・2・3分冊 (2003) 森遺跡、白金原遺跡 (2003) 前畑遺跡 (2003) 楠本・城下遺跡 (2003) 山ノ脇遺跡、石坂遺跡、西原遺跡 (2003) 武A・B・C遺跡、鳥越平遺跡・松ヶ迫遺跡 (2003) 城ヶ尾遺跡Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ (2003) 高篠坂遺跡、永蔵遺跡 (2003) 上ノ原遺跡 (2003) 鹿児島市教育委員会／鹿児島県埋蔵文化財確認発掘調査報告書 (2003) 東串良町教育委員会／東串良町文化財要覧 (2003) 精

沖縄県

沖縄県立博物館／沖縄県立博物館年報 No.27・28・29 (1994～1996) 沖縄県立博物館紀要 第20・21・22号 (1994～1996)

平成15年度(2003年度)

日田市埋蔵文化財年報

発行日	平成16年6月30日
編集	日田市教育委員会文化課 〒877-0077 大分県日田市南友田町516-1 TEL0973-24-7171
発行	日田市教育委員会 〒877-8601 大分県日田市田島2-6-1 TEL0973-23-3111
印刷	尾花印刷有限株式会社 大分県日田市田島本町8-8